

民主化闘争情報

No. 837
2011年10月13日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

9月に日貨労から組織拡大を果たした貨物鉄産労が、10月12日、再び東海地区本部であらたな仲間の加入を勝ちとった。貨物鉄産労の組織拡大の勢いが止まらない。

貨物鉄産労に日貨労から26歳の青年が加入！ 青年の相次ぐ加入で活気溢れる貨物鉄産労！

今回、日貨労と決別し、貨物鉄産労に加入したのは東海保全センターに勤務する26歳の青年だ。貨物鉄産労は、2011年度に入って、4月に九州地区本部で2名、5月に東海地区本部で1名、6月に九州地区本部で2名、東海地区本部で1名、そして9月には東海地区本部で1名の組織拡大を果たしている。今回の加入で、本年度8人目の組織拡大となるが、20歳台が6人、30歳台が2人という、フレッシュな顔ぶれである。若い仲間の加入で活気溢れる貨物鉄産労は、引き続き組織拡大に取り組んでいくことを意思統一している。

貨物鉄産労東海地区本部は、「JR貨物に働く全ての皆さん！JR貨物の発展と私たちの雇用・労働条件を守るため、JR連合・貨物鉄産労に対する期待が高まっています。JR連合・貨物鉄産労は、『震災被害支援』と『税制特例問題』について、前田国交大臣、津川国交政務官、松崎民主党政調副会長に緊急要請を行うなど、積極的に貨物会社の経営支援策に取り組んでいます。また、JR三島・貨物会社の自立経営確保に向けた署名活動も取り組んでいるところです。JR貨物の安定的経営と私たちの雇用を守り、労働条件を改善していくために、『貨物民主化・貨物改革』に参加して下さい」と訴えている。

貨物鉄産労本部も、「とにかく行動あるのみ！『東海に続け！』を合い言葉に、全国各地で多くの仲間を迎えよう！」と号令を発している。

JR貨物連合が第2回定期大会を開催！FLユニオンは着実に組織を拡大！

9月30日、JR貨物連合が第2回定期大会を開催した。山崎会長（貨物鉄産労委員長）は、挨拶で「JR貨物グループの民主化を成しえるためには、貨物鉄産労と日本フレートライナーユニオン（FLユニオン）の組織拡大しかない。特に、FLユニオンの東京、北九州、福岡は圧倒的多数になることが、自らの雇用を守り労働条件を改善することにつながる。互いに協力し、JR貨物連合が来年の大会ではさらに大きな組織となっているように奮闘しよう」と訴えた。

FLユニオンは、今年5月に結成されて以降、着実に組織を強化・拡大してきており、北九州貨物ターミナルに続き、この度、福岡貨物ターミナルにおいても過半数を超える組織となった。来年4月のFL会社における積卸・フロント業務のロジスティクス会社への移管問題を乗り切り、安定した職場・会社を創りあげるためには、FLユニオンのさらなる質的・量的強化が求められている。

大会では、提案された議題を満場一致で採択するとともに、山崎俊実会長、杉山祥一副会長（FLユニオン）、森泉政人事務局長（貨物鉄産労）、伊崎文雄事務局次長（FLユニオン）の新役員体制を確立した。

